



高野理恵子さんは、飯山市瑞穂地区でひなたやまデザインの個人事業主としてコミュニティスペース「ひなたやまロッジ」を運営している。

ひなたやまデザインのコンセプトは、「資源（もの・こと）をいかしていくこと」、「あったらいいな！をカタチにしていくこと」、「暮らしの愉しみや工夫を共有しつなげていくこと」である。2020年にひなたやまロッジを開業したため、コロナの影響を受けたが、一度訪ねてきてくださった方々の中でリピートして訪れてくださる方が増えてきており、一度で終わらない関係性を築けている。「このような場所があったのか。」という印象からまた利用したいという声もあがっている。主に家族や友人、仲間内などに少人数で利用されることが多く、こうした利用客は瑞穂地区や飯山市に住む人のみに限らず市外や県外から来る方々もいる。地元の方々からも住民同士の新たな繋がりや世代間交流の機会をひなたやまロッジでつくっていききたいという声があがっている。ひなたやまロッジを利用する方々にとって身近な日常になるように、公民館などとは違った家庭的な雰囲気づくりにも力を入れている。

ひなたやまロッジは高野さんにとってコミュニティをデザインしていく時の重要な拠点であり、周辺地域の生活圏をどう耕していくかを意識している。屋号のひなたやまデザインの「デザイン」を、自分たちの地域の良さや価値を見出し、暮らしをより豊かなものにしていこうという広い意味での「コミュニティデザイン」と捉えている。自分たちがこの地域に暮らしていて『楽しい』と思えることは地域の価値を高める上でとても大切であり、日頃の生活の中で自ら経験し、実践しながらそれを伝えていける存在でありたいと高野さんは考えている。